

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2021-127799

(P2021-127799A)

(43) 公開日 令和3年9月2日(2021.9.2)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
F 1 6 L 9/133 (2006.01)	F 1 6 L 9/133	3 H 0 1 3
B 2 9 D 23/00 (2006.01)	B 2 9 D 23/00	3 H 0 1 9
F 1 6 L 13/10 (2006.01)	F 1 6 L 13/10	3 H 1 1 1
F 1 6 L 21/00 (2006.01)	F 1 6 L 21/00 C	4 F 1 0 0
F 1 6 L 47/02 (2006.01)	F 1 6 L 47/02	4 F 2 1 3
審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 21 頁) 最終頁に続く		

(21) 出願番号 特願2020-22623 (P2020-22623)

(22) 出願日 令和2年2月13日(2020.2.13)

(71) 出願人 000002174

積水化学工業株式会社

大阪府大阪市北区西天満2丁目4番4号

(71) 出願人 598015084

学校法人福岡大学

福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号

(74) 代理人 110001232

特許業務法人 宮▲崎▼・目次特許事務所

(72) 発明者 志村 吏士

滋賀県栗東市野尻75 積水化学工業株式会社内

(72) 発明者 和田 弘志

滋賀県栗東市野尻75 積水化学工業株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 樹脂管及び継手

(57) 【要約】

【課題】改質層が発揮する改質効果の持続性を高めることができ、樹脂管を任意の位置で切断した場合でも、樹脂管と継手とを良好に接合することができる樹脂管を提供する。

【解決手段】本発明に係る樹脂管は、樹脂管本体と、改質層とを備え、前記改質層が、前記樹脂管本体の外表面全体に配置されており、前記改質層が、側鎖結晶性ブロック共重合体を含む。

【選択図】 図 1

